



野球部部长

池野 陸いけの りく

# 夏の大会を振り返って

今年の夏の大会は、記念すべき第100回目という節目の大会でした。天候面で雨が続き、予定通りに開催されるか心配されましたが、開幕日前日には雨もあがり、とても清々しい気持ちで大会を迎えることができました。

私たちの初戦は榛原高校でした。1回表に先制されてしまい、なかなか追いつけない中、9回裏に粘りの攻撃で同点に追いつき、今まで目標としてきた野球を表現できたと思います。スタンドにいた全校生徒の皆さんと保護者の皆様、そして川根高校を応援してくださる全ての方の大きな声援のお陰で最後まで戦い抜くことができました。また、私はキャプテンとしてチームを支え、キャプテンはチームを映す

鏡と言われ、そのため、常に模範となるよう行動してきました。私が大変なときは、他の3年生15人が支えてくれました。また、試合中に足がつり、夏の大会直後にも熱中症で倒れてしまいました。が、仲間に助けられ最後までキャプテンとしての責任を果たすことができました。このとき、私は仲間に支えられてきたことを実感しました。



私たちが当たり前のように野球ができていたのは、地域の方や先生方、そして保護者の皆様の支えがあったからです。これからは、川根高校で野球ができたことに誇りを持ち、卒業まで野球部員として生活していきたいと思えます。そして、感謝の気持ちを忘れず、自分たちの進路に向かって頑張っていけます。



野球部副部长

中村 恒和なかむら こうわ

夏の大会では熱い声援ありがとうございました。皆さんの応援があったからこそ、最後まで戦い抜くことができました。

私は川根高校に来て野球ができたことを本当に幸せに思います。楽しいことや苦しいこともたくさんありました。が、チームメイトのおかげで乗り越えることができました。また、3年生の部員のうち8人が川根留学生として連携中学校以外から入学してきた生徒です。寮での生活が大変な中、私たち地元生と同じように野球をしてきました。そのような彼らの努力も私の励み、力となりました。本当に川根高校に来てくれたことを感謝しています。多



くの方々の支えがあったからこそ野球を心の底から楽しむことができました。朝早くからお弁当の用意をしてくれたり、汚れた練習着の洗濯など一番近くで支えてくれた家族、自分たちに野球の楽しさや怖さなど本当の野球を教えてくださった先生方、日々私たちの活動を応援してくださった地域の方々、さまざまな人たちの支えが力になりました。その恩返しとして、自分たちの野球ができたと思います。次の私たちの目標は進路実現です。就職や進学など、これからはそれぞれの道に進んでいきます。川根高校野球部で学んだこと、支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れずに進路に向かって歩いていきます。そして、立派な大人となり、

次はわたしたちがこの町の支えとなるよう頑張っていきたいです。